

隣保館所蔵啓発DVDソフト一覧表

番号	題名	時間	人権課題 テーマ	備考	付記
1-1・2・3	ワーク・ライフ・バランスを知っていますか？ ～働くオトコたちの声～		ワークライフバランス	仕事と家庭の理想的なバランスを実践する人々の紹介	内閣府男女共同参画局
2-1・2	配偶者からの暴力の根絶をめざして ～配偶者暴力防止法のしくみ～	35分	配偶者暴力、DV	「配偶者暴力防止法」のしくみ等についてわかりやすく紹介しています。	内閣府男女共同参画局
3	総務課 山田六平太 裁判員プロジェクトはじめます！	23分	裁判員制度	裁判員制度について	
5	桃色のクレヨン	28分	子ども、いじめ、障がい	知的障がい者の子との、ふれあいについての話	
6	老いを生きる	35分	高齢者、認知症	超高齢者社会の時代。認知症について	
7	ありのままにみることの大切さ 優 上田地	20分	性同一性障害	性同一性障害って、何ですか？	
8	プレゼント	17分	子ども、いじめ	小学校のいじめについて(対象3・4年生)	
9	未来への虹 おじさんは、ハンセン病— 一ぼくの	30分	ハンセン病	ハンセン病患者の偏見や差別をなくすためには…。小学校高学年以上の方に見てもらふことを目的として作成されたもの	
10	見上げた青い空	34分	若者、インターネット、いじめ	インターネットや携帯電話を使用しメール、プロフ、掲示板。ネット時代のいじめ問題。(中学校・少年・青年向)	
11	もうだまされないゾウ！	21分	消費者	・不当請求 ・高齢者を狙う悪質商法など	
12	高齢者の消費者トラブル見守りガイドブック		消費者	「悪質住宅リフォーム問題への対応」(平成17年9月16日 消費者政策会議関係委員会議決定)を受け、こうした認識のもとで作成しました。』という概要で内閣府(現在は新設された消費者庁)のホームページで見守りガイドブックのファイルが収録されています。また、同ページには講師用マニュアルも収録されています。	
13	あした天気になあれ 「ゆう」		いじめ、部落差別	バンド「ゆう」は1997年に結成。悲しいいじめや、部落差別問題など「音」を通して活動している。	
14	消費者の強～い味方	27分	消費者	景品表示法	
15	はじめての金融ガイド	33分		振り込め詐欺など	2本有り (15-②)
16	職場で起こるハラスメント対策の基礎知識	50分	職場、ハラスメント	そもそも、ハラスメントってどういったものなんだろう？職場で起こる各種ハラスメントの必須基礎知識をわかりやすく解説。職場構成員のハラスメントに対する誤解をほどこき、そのコミュニケーションギャップを埋めていくためのヒントを与える全従業員向け総合ハラスメント対策教材の決定版。	
17	ソータ サワサワ 価値はみな同じ～ ～人間の	34分	外国人	言葉も文化も異なる日本で暮らすタンザニア出身のフィデアさん。外国人排除に対し「私達みな同じ」という願いを込めて語る	
18	日常の人権Ⅰ 一気づきから行動へ	23分	女性、DV、子ども、虐待、 高齢者、認知症	女性の人権 子どもの人権 高齢者の人権	
19	家庭の中の人権 生まれ来る子へ	25分	性別役割、DV、身元調査	「家庭の中の人権」に目を向け、祖父母と孫夫婦の会話を通して、私たちの身の回りにおける人権問題をクローズアップしました。	
20	ほんとの空	36分	高齢者、外国人、いじめ	誤解や偏見に気づき人と深く向き合う事、他者の気持ちを我がこととして思うこと。すべての人権課題を自分に関わることとして捉え、日常の行動につなげてもらう。	
21	平成26年度 法務省委託 人権啓発教材 人権アーカイブ・シリーズ 同和問題～過去からの証言、未来への提言～ (61分) 同和問題未来に向けて(19分)	80分	同和問題	我が国固有の人権問題である同和問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等のさまざまな団体における人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべき同和問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心にわかりやすく簡潔にまとめています。また、一般市民を対象とした、啓発現場においても使用できる有効なツールとしての映像も併せて制作し、同和問題の解決のために次世代へ伝承するものです。	公益財団法人 人権教育 啓発推進センター 寄贈
22	あなたがあなたらしく生きるために 性的マイノリティと人権	30分	LGBTQ	性・セクシュアリティはとて多様です。しかし、それをしっかり理解している人はごくわずかでしょう。そのため、性的マイノリティの多くが、生きづらさを感じています。誰もがありのままを受け入れられ自分らしく生きたいと望んでいます。そんな社会を実現させるためには、まず相手を正しく理解し、偏見や差別をなくす必要があります。この教材は、性的マイノリティについて人権の視点で理解を深めるのがねらいです。性的マイノリティの入門編としてご活用ください。	公益財団法人 人権教育 啓発推進センター 寄贈
23	未来を拓く5つの扉～全国中学生人権作文 コンテスト入賞作品朗読集～	46分		全国中学生人権作文コンテストでは、次代を担う中学生が、身の周りで起きたいろいろな出来事や自分の体験などから、人権について考えています。このビデオでは、入賞作品の中から5編の作文を朗読して、アニメーションやイラストで紹介しています。中学生が作文の中でつぶやいている言葉に、あなたも耳を傾けてみてください。それが、きっと、新しい明日への一歩につながっていくでしょう。	公益財団法人 人権教育 啓発推進センター 寄贈
24	imagination～想う つながる 一歩ふみだす～	34分	子ども、同和問題、発達障害	ラジオ番組に届いた悩み相談から3つの物語が始まる。①子供の人権-いじめ問題- ②同和問題 ③障がいの者の人権-発達障がい-	
25	企業活動に人権的視点を-CSRで会社が変わる・社会が変わる-	103分12秒	障がいの者雇用、高齢者雇用、 ワークライフバランス	経済産業省中小企業庁の委託事業として、CSR(企業の社会的責任)や人権課題に関する企業の取組を啓発促進することを目的に、平成14年度から平成25年度に各地で開催した「『企業の社会的責任と人権』セミナー」において、CSRと人権課題に積極的に取り組まれている企業に発表いただいた実践事例の中から、企業にとって関心の高いテーマに関する事例を分かりやすくまとめたものです。各事例では、協力いただいた企業の経営者や従業員などにおける実際の取組の様子や地域の人々の声などを紹介しています。また、専門家による各事例の取組のポイントやCSRと人権課題に関する解説も収録しています。	公益財団法人 人権教育 啓発推進センター 寄贈
26	人権アーカイブ・シリーズ ハンセン病問題 ～過去からの証言、未来への提言～、家族 で考えるハンセン病	56分、20分	ハンセン病問題	この教材は、ハンセン病問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等の人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべきハンセン病問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡単にまとめています。また、広く一般市民を対象とした啓発現場においても使用できる有効なルーツとなる映像も併せて制作し、次世代へ伝承しようとするものです。	公益財団法人 人権教育 啓発推進センター 寄贈
27	すべての人々の幸せを願って～国際的視点 から考える人権～	35分		国際的人権への取り組み、女性の人権、子どもの人権、障がいのある人の人権、外国人の人権	公益財団法人 人権教育 啓発推進センター 寄贈
28	みんな生きている	30分	東日本大震災	震災で母を失い、出稼ぎに出た父に代わり親族に引き取られた俊太と仁美。ある日、仁美は母に会ったと言いつつ。二人は母を求めて家出。そこで出会うおじさん、お婆さん、亡くなった母。あの海で二人が出会ったのは…。子どもの心の傷の回復に何が必要かを考えます。	
29	外国人と人権 違いを認め、共に生きる	33分	外国人	外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会をつくりあげるために何が出来るかを考えるものです。外国人に対する偏見や差別をなくし、皆が住みよい社会を築くために私たちにどのようなことが問われているのかを学びます。	公益財団法人 人権教育 啓発推進センター 寄贈
30	インターネットと人権 加害者にも被害者にも ならないために	30分	インターネット	インターネットは、私たちの生活を豊かにするとともに欠かすことのできないものになっています。しかし一方で、インターネット上の人権やプライバシーの侵害につながる行為は後を絶たず、近年特にネットいじめや子どもたちをターゲットとした犯罪が大きな社会問題となっています。また、インターネットに関する知識や意識が十分でない中学生や高校生は、被害者になるだけでなく、意図せず加害者になることも少なくありません。本DVDは、主に中高生やその保護者、教職員を対象に、インターネットを利用する上での危険性や、安全な利用法・対策について、わかりやすくまとめました。	公益財団法人 人権教育 啓発推進センター 寄贈

31	風の匂い	34分	知的障害, 合理的配慮	スーパーマーケットで働く青年、歩と正人。歩には知的障害がありますが、子どもの頃は共に遊び、共に学ぶ「大切な友だち」でした。しかし、大人になった二人を隔てる健常者と障害者という壁。二人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある『合理的配慮』について、見る方々が自分自身の問題として考えるきっかけとなるドラマ教材です。	
32	わたしたちが伝えたい、大切なこと —アニメで見る全国中学生人権作文コンテスト入賞作品—	31分	人種による偏見や差別, 障がいのある人	この作品は、スーパーマーケットで働く二人の青年が主人公である。その一人には知的障害があるが、子どもの頃は共に遊び、共に学ぶ「大切な友だち」であった。しかし、大人になった二人を隔てる健常者と障害者という壁。二人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある『合理的配慮』についても触れる。	公益財団法人 人権教育啓発推進センター 寄贈
33	その人権問題わたしならどうする？ 【家庭編】	24分	①企業にとって人権とは ②パワー・ハラスメント, セクシュアル・ハラスメント ③LGBT(性的少数者)に対する差別・偏見 ④障害のある人に対する差別・偏見 ⑤外国人に対する人に対する差別・偏見 ⑥えせ同和行為 ⑦エンディング	①「男は、女房と子どもを養う存在」と言う夫に「女を見下している」と言う妻 ②我が子がいじめられて心配な妻と「自分自身で乗り越える」と言う夫 ③悪口を書き込む娘を制止する母と「やめたら自分がターゲットにされる」と娘 ④助けてあげたい嫁と「介護はきれいごとじゃない」と言う義理の兄 ⑤隣人を助けたい妻と「余計なことはするな」と言う夫 ⑥子どもを虐待する友人と、気づいた妻	企画・製作 株式会社ドラマ
34	その人権問題わたしならどうする？ 【地域編】	38分	①障がい者 ②ホームレス ③外国人 ④性同一性障害 ⑤同和問題	①障がい者施設建設反対の署名を迫る隣人と、それに賛同したくない妻②ホームレスに退去してほしい隣人と、迷う妻③「外国人はルールを守らない」と言う隣人と、孤立している外国人が気になる妻④性同一性障害の家庭教師に戸惑う妻と「問題ない」と言う夫⑤妹の結婚相手が同和地区出身者、父を説得してほしいと頼まれる	企画・製作 株式会社ドラマ
35	企業と人権 ～職場からつくる人権尊重社会～	40分	①障がい者 ②ホームレス ③外国人 ④性同一性障害 ⑤同和問題	①障がい者施設建設反対の署名を迫る隣人と、それに賛同したくない妻②ホームレスに退去してほしい隣人と、迷う妻③「外国人はルールを守らない」と言う隣人と、孤立している外国人が気になる妻④性同一性障害の家庭教師に戸惑う妻と「問題ない」と言う夫⑤妹の結婚相手が同和地区出身者、父を説得してほしいと頼まれる	公益財団法人 人権教育啓発推進センター 寄贈
36	その人権問題わたしならどうする？ 【会社編】	18分	①セクシュアル・ハラスメント ②パワー・ハラスメント ③精神疾患④発達性障害 ⑤HIV	①部長がセクハラ、部下が被害者②部下を注意したら「それはパワハラです！」と言われて③鬱の社員を守るか、関わらないようにするか迷う課長④部下はADHD。別の部下から、チームから外して欲しいとの要望が出る⑤HIV陽性の部下の人権を守るためにできることはなにか	企画・製作 株式会社ドラマ
37	【石見大田にありて輝きしもの】 世界遺産 石見銀山遺跡	約88分	世界遺産, 石見銀山遺跡	【世界遺産】 自然や人の営みの歴史を知り やがてその歴史に学ぶために 人種・言語・宗教・文化・・・互いの違いを理解し 協調・共存するために 【石見銀山遺跡】 銀の採掘・精錬・運搬の過程と 鉱山の技術・生活・支配の変遷を示す遺構が残る (石見銀)や(灰吹法)が 日本史・世界史に及ぼした影響は大きい 鉱山遺跡と 本来的自然と 今に続く人の暮らしが融合した (文化的景観)がある	
38	誰でもできる消防訓練	17分	消防訓練	・通報訓練・消火訓練「消火器」・消火訓練「屋内消火栓」・避難、誘導訓練	
39	誰もがその人らしく—LGBT—	20分	LGBT セクハラ 性のグラデーション カミングアウト アウティング アラビ	主人公の周りにいたけれども見えなかったLGBT(性的少数者)の人たちが見えてくるストーリー	東映株式会社 教育映像部
40	君がいるから	33分	子ども, 若者の人権	この作品は、母親からの心理的虐待に悩む若者「奏」が主人公です。生き方を制限され、自分が愛されていると感じることができず自己肯定感の低い彼女も、コンビニエンスストアを舞台とした「ほんの小さな冒険」をきっかけに少しずつ変わっていきます。彼女は、そこで出会う人々とのふれあいを通じて、新たな価値観に気づいていきます。ともに心を通わせ、信頼することの先に「希望」と「幸せ」があることを奏の成長を通して描いています。	東映株式会社 兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会
41	障害のある人と人権 誰もが住みよい社会をつくるために	33分	DV, 障がい者, アサーティブ, 同和問題, 外国人	1.はじめに 2.障害とは？ 3.障害のある人が直面する人権問題 4.誰もが住みよい社会をつくるためには	公益財団法人 人権教育啓発推進センター 寄贈
42	ウェルカム！—外国人の人権—	16分	外国人 多様性 多文化共生	チャプター①「違いは壁？」 若槻さくらからは入社6年目になります。ホテルグループの広報室で、広報誌の取材を担当しています。その日、午前中は新入社員の研修の様子を取材しました。会社は外国人社員を積極的に採用しており、ヒジャブを身にまとったイスラムの女性も講義を聞いています。社員研修を担当する人事部の楊梅梅は、中国出身で入社10年目です。ホテルで働くためのサービスマニュアルをつくるなど、実績を積み重ねていました。しかし、マニュアルだけでは心づかいが大切だと楊は説明します。イスラムの女性や楊の講義の様子を取材する中で、さくらは多文化共生について理解を深めていきます。 チャプター②「壁は扉？」 午後の取材は、鯉川専務がアメリカでヘッドハンティングした海外営業部のデビッド・ルイスへのインタビューでした。待ち合わせのカフェで、英語が不安なさくらが挨拶の練習をしながら待っていると、現れたルイスは日本語が流暢でした。カフェの店員もまた、英語が苦手なルイスがいるのに、さくらへ話しかけます。ルイスはやさしく「無視されるのは寂しい」と抗議します。そこに、鯉川専務と楊が現れます。違う文化をもった人と付き合うのは実に面倒くさいですが、それを乗り越えることでイノベーションが生まれます。鯉川専務はカーネギーの言葉「変化を歓迎しよう。もてなそう。」を引用します。国籍や文化の違いを「壁」ととらえず、「扉」と考え、開き進んでいくことが大事なのだと、さくらは実感します。 3. ねらい 現在、日本に在留する外国人は200万人を超えています。在留外国人は年々増加する傾向にあり、外国人も私たちの社会の一員として、重要な役割を担っています。しかし、文化の違い、言葉の壁などが理由で誤解を受けたり、差別にさらされたりすることも少なくありません。世界はグローバル化しており、外国との付き合いを広げ、異文化交流を進めていくことが、求められています。外国人の人権に気づき、その人権を尊重することは、私たち自身が日本人としての人権を守り、新しい時代のあり方を考えるヒントにもなります。	東映株式会社 教育映像部
43	人権のヒント 地域編 「思い込み」から「思いやり」へ	25分	人権全般	街の喫茶店「カフェ ヒューマンライツ」には、さまざまな思いを抱いた人々がやってきます。ドラマはこの店のママとお客のひとりである八百屋の山田さんを中心に展開していきます。まず山田さんが「自分の娘は結婚したら仕事を辞めるべきだ」と主張します。「男は仕事、女は家庭」という古い考え方の持ち主です。それをママにたしなめられます。次に近所の若い夫婦のDV(ドメスティック・バイオレンス)が話題になり、山田さんがその夫と話をしたところ山田さんと同じ考えの持ち主だということがわかりました。また、店に集まった主婦たちの中では「女として生まれて、子どもがいけないのは寂しいことだ」などと勝手な思い込みが話されています。それに対してママは「わたしには子どもがいなかったけれど夫婦二人で幸せでした」と言います。山田さんの娘がなぜ結婚後も働き続けようとしているのかその訳を娘夫婦が山田さんに話します。続いて、障がいのある人がコーヒーを飲みに来る店を訪れてきます。お店の常連の女性が「かわいそうだ」と言う勝手な思い込みの中で色々世話を焼きます。その様子を見ていたママは「思い込みによる善意の押しつけは自己満足よ」と論じます。最後に不動産屋の鈴木さんが登場し、管理しているマンションの住民同士の騒音苦情処理について悩んでいることを打ち明けます。その当事者を喫茶店に呼び出し、皆で協力して、お互いが住民として配慮しなければならないことを気づかせます。また山田さんは出身地によって鈴木さんの性格を決めてしまっています。このような偏見の話題からドラマは部落差別や外国人差別の問題に展開していきます。	東映株式会社 教育映像部
44	家族・親族への思い ～ハンセン病回復者からのメッセージ～	30分	ハンセン病	かつて我が国で採られた強制的な隔離政策により、ハンセン病は恐ろしいという誤った理解が国民の間に広まったことで、ハンセン病回復者やその家族は、社会からのいわれのない差別や偏見の対象となってきました。家族や親族が受けた被害についてどのように捉えているか、また、家族や親族への思いについて、3人のハンセン病回復者が証言します。	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会 ハンセン病回復者支援センター
45	ハンセン病療養所で受けた私の被害 断種・墮胎	30分	ハンセン病	1915年より開始された男性への断種手術や、戦後に制定された「優生保護法」(1948～1996年)のもと、ハンセン病患者や配偶者がハンセン病療養所で受けた強制的断種・墮胎の体験を3人のハンセン病回復者が語ります	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会 ハンセン病回復者支援センター

46	第1巻 いのちへの讃歌	72分	いじめ、難病(筋ジストロフィー)、白血病	「しらんぷり」(21分) テーマ:いじめ問題 「ぼくの青空」(26分) 難病 筋ジストロフィーの闘病生活 「金色のクジラ」(25分) テーマ:骨髄移植	東映株式会社 教育映像部
47	今そこにいる人と、しっかり出会う ー同和問題ー	24分	同和問題	同和問題はわが国固有の人権問題であり、日本の長い歴史の発展の中で形作られた身分差別によって、形成されたものです。生まれた場所や住んでいる場所だけで偏見をもたれ、差別されるといふ理不尽な差別といえます。いま、現代社会でも様々な差別の問題が起こっています。本作では、同和問題について理解を深めていただくと同時に、同和問題のモチーフに、人と人がしっかり出会い、差別とどう向き合っていくかについてのヒントになる作品となるように構成しました。ドラマ形式で描いていますので、登場人物の気持ちに寄り添って視聴することができます。	東映株式会社 教育映像部 (令和2年度コロナハラスメント等予防啓発事業)
48	「違い」を「力」にするためにー職場のコミュニケーションのヒントー	26分	ルーツの違い、障がい者、多様な性、ハラスメント、同和問題	職場では、グローバル化が進展し少子高齢化社会が進んだことで、より多様な人材が活躍する時代になっています。もともと、人と人には違いがあり、コミュニケーションはその違いを乗り越えるための重要な手段であるといえます。そして、職場の多様性が進んでいるか中、コミュニケーションのあり方は、「職場の人権」を考える上でますます注目度を増しています。いまは、お互いの「違い」を理解するという段階から、「違い」をプラスにして、積極的に新しい価値に転換する時代になっています。この教材では、「違い」を新しく「力」にしていくために、どんなコミュニケーションのあり方でそれを実現していけるのか、事例をとりあげながら考えます。	東映株式会社 教育映像部 (令和2年度コロナハラスメント等予防啓発事業)
49	映像で学ぶジェンダー入門① 男らしさ/女らしさー社会を覆うジェンダー・ステレオタイプー	40分	ジェンダー	男らしさ、女らしさといった考え方は人の無意識に存在します。そうした考え方はしばしばステレオタイプ化し、多くの弊害をもたらします。「スイーツ男子」といった言葉の裏にどのような性別の固定観念が潜んでいるのか、また、教育の場においてそうした固定観念はどのような影響をもたらしているのか、ジェンダー・ステレオタイプを取り巻く多くの事例について考えます。また、フェミニズムやバックラッシュといったジェンダーを考える上で重要な事例についても学びながら、様々な事例から身近なところにひそむ性別役割規範について考え、現代社会における課題について考えます。	監修 加藤秀一 (明治学院大学教授)
50	映像で学ぶジェンダー入門② 多様な「性」	30分	ジェンダー	ひと言に「性」と言ってもそのあり方は非常に多様です。日本の社会において、人は「男」か「女」いずれかの性別に割り振られ生活することが前提となっていますが、本当に性別とは男女の2つしかないのでしょうか。この巻では性自認、性役割、性的指向といったジェンダー学における「性」の考え方について学び、性のあり方の多様性について様々な事例をもとに考えます。また、LGBTをはじめとした性的マイノリティの存在、その当事者の抱える生きにくさなどの様々な問題について触れ、多様な「性」を認める社会を作るうえで直面する多くの課題について考えます。	監修 加藤秀一 (明治学院大学教授)
51	映像で学ぶジェンダー入門③ 結婚・家庭におけるジェンダー	38分	ジェンダー	結婚、家族のあり方について、以前に比べて近年は比較的多様なあり方が認められてきているといえるかもしれません。しかし「女は結婚して、子どもを産むことが一番の幸せだ」「男は仕事をして女は家事をするものだ」といった価値観は根強く、そうした考え方は様々な弊害を引き起こします。この巻ではしばしばメディアでも取り上げられる夫婦別姓、事実婚といったテーマをはじめ、家事の分担、出産や子育てなど、結婚や家庭におけるジェンダーに関する様々な事柄について身近な事例をもとに考えます。	監修 加藤秀一 (明治学院大学教授)
52	映像で学ぶジェンダー入門④ 労働とジェンダー	35分	ジェンダー	「女性の社会進出」が謳われる昨今ですが、女性の労働環境は様々な面において多くの課題が残されています。労働においてはハイヒール着用を強制されることに抗議する#KuToo(くーとぅ)運動は広く社会の関心を集めました。統計を見ても男女間の賃金格差は非常に大きく、性別による職務分離、マタニティ・ハラスメントといった問題も依然として存在します。この巻ではそうした労働におけるジェンダーの諸問題がどのようにして生み出されるのかを学び、これらの労働の在り方について考えます。	監修 加藤秀一 (明治学院大学教授)
53	映像で学ぶジェンダー入門⑤ 性暴力と性の商品化	34分	ジェンダー	性はしばしば商品化され、時に個人の尊厳を傷つける暴力となります。強制性交やセクシャル・ハラスメントなど、性暴力には様々な形が存在しますが、その背景にはジェンダー・ステレオタイプや歪んだ性規範が存在します。性暴力は被害者の視点で考えなければなりません。セカンドレイプなどに悩まされる被害者は後を絶たず、依然として多くの課題が残されています。また、近年は本人の意に反したアダルトビデオの出演強要などの問題が社会問題となっています。こうした性暴力や性の商品化について、身の回りに起こりうる様々な事例から学び、そこに潜む課題について考えていきます。	監修 加藤秀一 (明治学院大学教授)
54	むしむし村の仲間たち みんないいところあるんだよ	13分	いじめ	外見や能力が異なるむしむし村の昆虫キャラクター達。時には、それぞれの違いが原因で相手を傷つけたり、自分なんてダメなんだと悩んだりもします。でも、誰でも苦手なこともあれば、得意なこともあります。大切なのはお互いの違いを認め、相手の気持ちを思いやること。そして仲間と助け合っていくこと。そんなことを、子どもたちが楽しく学んでいけるアニメーション作品です。	東映株式会社 教育映像部 (令和2年度コロナハラスメント等予防啓発事業)
55	シェアしてみたらわかったこと	46分	外国人、障がい者、高齢者	上京して、期待を胸に入居したシェアハウスそこに暮らしているのは、個性豊かな住人たちこの住人たちとの交流は戸惑いの連続だけ時間、空間、思いをシェアして初めて気づくこともある私が、シェアしてみたらわかったこと	東映株式会社 教育映像部 (令和2年度コロナハラスメント等予防啓発事業)
56	道徳教材ドラマ 聲の形	30分	聴覚障害者、いじめ	道徳の授業の教科化に伴い、如何にして子ども達を「心の豊かな人間」に育てるか様々な議論がなされております。原作の「聲の形」は、現代の子供のリアルな表情を描きつつ、「いじめ」や「障がい者との共生」などの難しいテーマを読者が自然に考える事のできる優れた物語です。本作は原作の物語を基本に、教材としてのテーマを付加したドラマ形式の学習教材です。「いじめ」や「障がい」に対する意識と知識を高め、学校や家庭内で話し合うきっかけとしてお役立てください。	東映株式会社 教育映像部 (令和2年度コロナハラスメント等予防啓発事業)
57	お互いを活かすための人権シリーズ① 多様性入門	27分	外国人、障がい者、高齢者	企業では、いま、多様性を尊重することへの重要性がますます高まっています。企業内には以前と比べて多様な価値観、多様な属性を持った働き手が増えており、また、均一な商品・サービスではフォローしきれない多様なニーズ社会に生まれています。多様性とは、外国人、障害者、高齢者などの多様な価値観を私たちが受け入れることと認識されています。しかし、この教材は、その思い込みに対して一石を投じるものとなっています。この教材では、多様性とは、ある集団が多様な人を受け入れるという認識ではなく、集団に属するすべての個人がそれぞれに個性を持ち、それぞれの違いをお互い認め、活かす合うことだということをテーマに捉えています。このテーマについて、身近で誰もが経験しうる事例を丁寧に解説することで、多様性尊重への入門編となるよう制作しました。	東映株式会社 教育映像部 (令和2年度コロナハラスメント等予防啓発事業)
58	あした咲く	36分	女性、DV、LGBT	「女性の権利」～ともに輝ける社会をめざして～	兵庫県人権啓発ビデオ (令和2年度コロナハラスメント等予防啓発事業)
59	くうとしのーあなたがそばにいてー	12分	認知症	寄り添うだけでこんなに溢れる愛があるなんて。認知症の犬・しんと、介護猫・くうの、感動の実話をもとにした道徳・人権教育アニメーションです。もし、あなたの大切な人が認知症になってしまったら、あなたはその人に何をすることができるのでしょうか。年も性別も違う犬と猫の関係性を通して、視聴した子供たちが自然と考える事ができる、心がほっこりする物語です。	東映株式会社 教育映像部 (令和2年度コロナハラスメント等予防啓発事業)

60	お互いを活かすための人権シリーズ② ハラスメント・しない、させないための 双方向コミュニケーション	26分	セクハラ、マタハラ、 ワハラ	いま、企業にとってハラスメントを防止することはとても大きな課題になっています。ハラスメントが発生すると、職場の環境が極端に悪化し、社員のモチベーションが下がるだけでなく、企業への社会からの信頼も大きく低下してしまいます。 人は、一人一人感じ方や考え方が違います。ハラスメントを防止するためには、双方向のコミュニケーションが大切です。ハラスメントをしないためには、相手の立場を尊重した上で自分の意思をきちんと伝えることが大切です。ハラスメントをさせないコミュニケーションの可能性もこの作品では描いています。 自分にも、思い込みや偏見があるかもしれないことを自覚するのは重要です。そしてその先に互いのズレを修正していく双方向のコミュニケーションがハラスメント防止にとって重要なポイントになるという視点のもと、ハラスメントの入り込む余地を与えない、新しいコミュニケーションの形を提案します。	東映株式会社 教育映像部 (令和2年度コロナハラスメント等予防啓発事業)
61	家庭からふりかえる人権 話せてよかった	27分	性的役割	本作では、日常の中の思い込みによって生じる問題を描き、相互理解のためのコミュニケーションによって、その問題と向き合うことを提案します。家庭の人間関係は、私たちの人権意識を育む基盤です。そこからふりかえることで、組織や社会における意識も見つめ直すことができるのではないのでしょうか。自分の中にある思い込みに気づき、自分も相手も尊重する人間関係を築くために、職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとしてお役立てください。	東映株式会社 教育映像部 (令和2年度コロナハラスメント等予防啓発事業)
62	サラマット ～あなたの言葉で～		外国人	SNS時代における外国人の人権について	兵庫県人権啓発ビデオ (令和2年度コロナハラスメント等予防啓発事業)
63	はじめて認知症の人に接するあなたへ	19分	認知症	はじめて認知症を学ぶ方々を対象とした教材DVDです。「症状についての正しい理解」と「認知症の人への接し方の基本」の2点に内容をしぼり、認知症のついで基礎知識を学んでいきます。専門用語を使わない誰にでもわかりやすい解説と、大切なポイントに気づかせる適切なハウツー映像で、正しい知識を自然と身につけることのできる、入門編として最適な内容の教材です。	東映株式会社 教育映像部 (令和3年度 隣保館活動支援事業)
64	夕焼け	35分	ケアラー	相手が家族や親しい人であっても、毎日誰かの介護や世話をすることは、身体的、精神的、さらに経済的にも大きな負担がかかります。特にヤングケアラーは、学校に通い、教育を受け、友人と交流を通して成長する重要な時期であるにもかかわらず、その状況が周囲から見過されることが多いという問題があります。この物語の主人公・瑠依は、幼い弟の世話や家事に追われる生活にしんどさを感じつつも、「家族のことは家族であるのが当たり前」という思い込みから、気持ちを押し殺して生活しているヤングケアラーです。しかし、小学校時代の担任であり、元ケアラーの灯との交流によって、自分の状況や本当の気持ちについて見つめ直し、将来に向き合うための一歩を踏み出します。この作品では、お互いを気にかけて、人と人がつながっていくことが、ケアラーとその家族が抱える問題解決の糸口になる様子を描きます。ケアは他人事ではありません。だれもがケアする側にもケアされる側にもなります。年齢属性を問わず、共に助け合える「だれもが人権尊重される社会」の実現をめざすことを目的として、人権啓発ドラマを制作しました。	兵庫県人権啓発ビデオ
65	わかっカフェへようこそ ～ココロまじわるヨロココロ～	35分	インターネット、高齢者、 外国人	・オープニング(1分) 東京下町の路地裏に古民家を利用した「和菓カフェ」がオープン。オーナー駿の手づくりの和菓子と店員 桜の明るい笑顔が自慢 ・インターネットによる人権侵害 三食団子の向こう側(12分) 初めてスマートフォンを持つ中学生が主人公。ドラマと解説で課題を探る。 ・高齢者の人権 世代をつなぐ柏餅(8分) 高齢者の生きがいと若い世代との交流をドラマと解説・事例で紹介 ・外国人の人権 コンペイトウの来た道(12分) 日本に住む外国人はどんな悩みや困りごとを抱えているのか。日本人はどう向き合っていけばよいのか。ドラマと解説・事例で紹介 ・エンディング(2分) 「わかっカフェ」の開店一周年。多種多様な人々が集まっています。「わ」には、いろんな意味があることが、語られていく…	東映株式会社 教育映像部 (令和4年度 隣保館活動支援事業)
66	里親になりませんか？		里親制度	・里親制度について ・体験談1 ・体験談2	島根県里親会 (島根県人権フェスティバル)
67	めぐみ	25分	拉致問題		政府拉致問題政策本部 (湊秀樹さんより寄贈)
68-① 68-② 68-③	今企業にもとめられる「ビジネスと人権」への 対応 ※②③は複製可能作品	49分		今、企業は自社事業に関わる全ての従業員はもちろん、ステークホルダーと呼ばれる取引先の従業員や顧客、消費者、地域住民など、事業に関わる全ての人の人権を尊重することが求められています。 本DVDでは、法務省人権擁護局と公益財団法人人権教育啓発推進センターが制作した「ビジネスと人権に関する調査研究」報告書に基づき、企業が「ビジネスと人権」に関する取り組みを進めるために当たり、参考となる情報をドラマやCG、ナビゲーターによる解説などで分かりやすく紹介しています。	(公財)人権教育啓発 推進センター 寄贈
69	島根県パートナーシップ宣誓制度紹介ムービー (佐藤さんver.)	5分	LGBTQ		島根県 寄贈 制作:令和5年7月
70	【青少年向け】 あなたは大丈夫？ 考えよう！デートDV	29分40秒	DV	第1章:導入 第2章:事例①「それは、愛か束縛か？」 事例②「お金を出すのが愛なのか？」 事例③「キスしなくちゃいけないの？」	(公財)人権教育啓発 推進センター 寄贈 制作:㈱日テレアクセスオン
71	あなたは大丈夫？ 考えよう！いじめ	28分42秒	子どもの人権・いじめ	プロローグ ・小学生編(9分23秒) ・中学生編(9分33秒) エピローグ	(公財)人権教育啓発 推進センター 寄贈 制作:毎日映画社
72	あなたは大丈夫？ 考えよう！児童虐待	32分57秒	子どもの人権・児童虐待	「心理的虐待」、「身体的虐待」、「ネグレクト」、「性的虐待」、「ネグレクト→宗教活動に関する虐待」の9つの事例を解説。	(公財)人権教育啓発 推進センター 寄贈 制作:毎日映画社
73	悩まずアタック！脱・いじめのスパイラル	33分	子どもの人権・いじめ	第三十一回全国中学生人権作文コンテスト 法務大臣政務官賞 受賞作文「いじめのスパイラル」映画化	文部科学省選定 株式会社 映学社
74	障害のある子障害のない子 へちがいを認めて 助け合おう～	18分	子ども、障がい者	■地球に住むいろいろな人たち■クイズ「ちがうっていいこと」■合理的配慮の具体例	文部科学省特別選定 文部科学省選定 株式会社 映学社
75	アニメ 多様性の芽をはぐくむ③障がい	16分	障がい	視覚障がい、聴覚障がい、発達障がいなど様々な障がいがあります。障がいを持つ人はそれぞれ日常生活における困難や固有の悩みを持つ場合があります。自分は障がいを持っていないと自覚している人にとってはリアリティを持って理解されづらいことかもしれません。この巻では、障がいを持つゆえの生きづらさや不憫さはある一方で、それもコミュニケーション性であること、どちらか一方が助け一方が助けられる存在という認識を持たないよう、お互いに対等な関係性を構築していくのが当たり苗。そう感じてもらえるような構成としました。	株式会社 サン・エデュケーション
76	ビジネスと人権 ビジネスと人権 マルっと理解しよう！ ①	36分	人権	ビジネスと人権が注目される背景/ビジネスと人権に関する指導原則/企業に求められる人権尊重の取り組み-人権デュー・ディリジェンス/人権リスクへの取り組みの充実によるポジティブな影響/SDGsとビジネスと人権の関係	株式会社アスパ クリエイト
77	ビジネスと人権 ビジネスと人権 あなたならどうする？ ②	38分	人権	ビジネスと人権が注目される背景/企業が尊重すべき人権-人権リスクの25分野/企業が人権への影響を配慮すべき状況/人事例マンガ【新商品に児童労働の疑いのある原料が使われていると知ったら？】ほか	株式会社アスパ クリエイト

78	誰ひとり取り残さないための職場の人権シリーズ① よかったら“想い”を聴かせて-自分も相手も大切にするために-	29分	ハラスメント、LGBTQ、外国人、障がい者、働き方、部落差別	『ハラスメント』をはじめとした職場における6つの人権をテーマを切り口に、相手の想いを聞くこと・自分の想いを伝えること・お互いに受け止め合うことの大切さを登場人物たちと共に考えていきます。 職場の誰ひとり取り残さないために、自分も相手も大切にするためにはどういったコミュニケーションが必要なのか？ドラマを通して学んでいく映像教材です。	東映株式会社 コンテンツ事業部門 教育映像部
79	言葉があるから・・・ -無自覚の差別「マイクロアグレッション」-	31分	マイクロアグレッション 人権	あからさまな差別表現でなくても、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことを指す「マイクロアグレッション(小さな攻撃性)」。その言動の背景には、国籍や人種、性別、性的指向など、特定の属性の人たちへの軽視や偏見が隠れていることがあります。自覚なく加害者にならないために…。属性にとらわれずに、ありのままのその人と向き合うことの大切さを、このドラマでは描いています。職場や家庭内で「人種」について話し合うきっかけとしてお役立てください。	東映株式会社 教育映像部
80	大切なひと	34分	インターネット、部落差別、人権	この物語の主人公・愛依は、学友の大哉がインターネットに投稿する動画が、被差別部落について差別的であることに気づきながらも言い出せませんでした。幼少期に可愛がってもらった綾女の住居が動画内において差別を助長する内容で晒されたことをきっかけに、愛依は動画を削除するよう告げ、過去に綾女にしてしまった差別につながるような自らの過ちとも向き合います。現代社会におけるインターネットは利便性が高く、SNSや動画投稿サイトなどを通して自由に意見表明することができるのが特徴です。一方で、インターネット上では他者からの評価が自身の評価と誤認し、部落差別・外国人差別といった偏見や差別を助長するような情報を発信する行為がみられます。ときに投稿者自身も第三者から誹謗中傷を受けることがあり、現在深刻な人権問題となっています。インターネット上の一部の情報が、誤った認識や差別意識を助長すること、表現の自由を逸脱した許されない行為であると気づく大切さ、差別されている当事者が訴え続けるという負担を強いる社会構造の実態について理解するとともに、差別のない社会、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことを目的として、人権啓発ドラマを制作しました。	企画：兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会 企画協力：兵庫県教育委員会 制作：東映株式会社
81	パースデイ	37分	LGBTQ	この物語の主人公・美由紀は、娘だと思っていた笑花(尊)から自認する性が男性であることを告げられ、激しく動揺します。親としての感情ゆえに、はじめは拒絶する美由紀ですが、周囲の人々との交流などにより、性の多様性について少しずつ理解が進み、自分らしく生きようとする我が子の苦悩や願いに気づき、向き合っていくとします。 性の在り方は多様で一人ひとりの人権に関わることであるため、性的少数者の存在や悩みに気づくことが大切です。この作品を性的少数者について理解するきっかけとし、その多様性を認め、互いの人権を尊重することは、すべての人が自分らしく生きていける社会につながっていきます。そのような社会の実現をめざすことを目的として、人権啓発ドラマを制作しました。	企画：兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会 企画協力：兵庫県教育委員会 制作：東映株式会社
82	ココロ屋	25分	アサーション	☆友だちを泣かせてしまい「ココロを入れかえなさい」と先生にしかられた小学3年生のひろき。 ☆教室をとびだし、長い廊下を走った末に、迷って入りこんでしまったのは「ココロ屋」=うつろい博士が作り出した、いろいろなココロが並んでいる店だった…。	東映株式会社 教育映像部
83	母のさがしもの-認知症とともに生きる-	32分	高齢者・認知症	☆会社員の江村隆史(50)は中学生の息子・快人と二人暮らし。ある日の仕事中、隆史に1本の電話が。それは母・早苗(77)が警察に保護されたという知らせ。 ☆「…またですか？」実は1か月前から認知症の早苗を家で介護するようになった。 ☆しかし早苗は徘徊だけでなく、食事したことを忘れ、衣服を正しく着ることができなくなり、家中を歩きまわって何かを探す毎日。隆史は振り回され続け、既に疲労困憊だ。 ☆突然襲ってきた母の認知症。隆史はネットで情報収集するも、機会的な回答ばかりで介護の歩目がわからない。地域包括支援センターや認知症のカフェの存在を知るも足踏み。施設に預けるのはお金がかかるし、罪悪感もある。妻は既に他界しており、兄弟もいない。だからといって快人には迷惑をかけたくない。孤立無援の隆史は、単身介護の壁にぶち当たる。 ☆一方で、「自分に何かできることはないか」と考え始める快人。小さい頃から母親代わりをしてくれた早苗には恩があるからだ。しかし隆史は、家事に仕事に子育てに介護、全てを一人でこなそうとする。不満が募り始める快人。 ☆そんな時、早苗がまたしても徘徊をしてしまう。赤信号にも関わらず横断歩道を渡る早苗。そこに車が突っ込んできて…。 ☆認知症の母にどう寄り添えばいいのか。その答えのヒントは、早苗がずっと探していたものに隠されていた。	東映株式会社 教育映像部